

災害への備えとして防災情報を活用しましょう。

近年の雨の降り方は、「局地化・集中化・激甚化」していると言われています。平成24年7月の九州北部豪雨のような大雨に対しては、**自らの身を守るための行動が重要**となります。

今回は、**避難などの行動に役立つ防災情報**をご紹介します。リアルタイムでの情報を入手できますので、災害への備えとしてご活用ください。

①テレビ(地デジ)による防災情報 ※NHKの場合

NHKの地上デジタル放送(dボタン)では、気象情報、避難情報、河川の水位などを確認できます。

①「dボタン」を押してトップメニューから「防災・生活情報」を選択

②お住まいの地域の「気象」、「警報」、「避難指示・勧告」、「河川水位」などの情報を確認できます。

②インターネットによる防災情報(パソコン、スマートフォン)

国土交通省山国川河川事務所のホームページでは、水位や河川カメラ画像などの情報を提供しています。

【山国川河川事務所ホームページ】
<http://www.qsr.mlit.go.jp/yamakuni/bousai/index.html>

川の水位や河川カメラの画像を確認できます。

③自治体の防災マップ(ハザードマップ等)

お住まいの自治体のホームページや窓口で、ハザードマップや避難所一覧表などを入手することができます。自治体によっては、各戸に配布されている場合もありますので、事前にご確認ください。

「樋管(ひかん)」と言います。よろしくね♡



川沿いを通るとよく見かける、この小屋。
「何だろう?」と思ったことはありませんか?
この施設は「樋管(ひかん)」といい、川と市街地の水路とのつなぎ目に建てられています。大雨等で川の水位が高くなったときは、川と水路の間に鉄の扉を降ろし、水の行き来をなくします。こうして、川の水が水路に流れ込み、街中が水であふれてしまうことを防いでいます。

操作は、樋管ごとに「操作人」が決められており、中津市は消防団や住民の方が、吉富町・上毛町は住民の方がしてくださっています。操作人さん、いつもありがとうございます!

～樋管はこんなふうになっています～



建物の下をのぞいてみると...



川の水位の方が高くなったら赤囲みの鉄の扉を下に降ろし水の通り道を閉じます。

普段は開けておいて水路の水があふれないよう川に流しています。

山国川に関するご意見・ご相談は

〒871-0059

大分県中津市外馬場2599-24

国土交通省

山国川河川事務所

中津出張所

TEL0979-22-0103

FAX0979-22-0104

山国川河川事務所HP:

<http://www.qsr.mlit.go.jp/yamakuni/>

